

Scoop

2001年12月

グランビア

トヨタ

“でっかいノア”初捕獲！
これが生まれ変わったFFグランビアの真相だ

[zoom](#)

テストカーの写真をもとにスクープ班が予想した“次期グランビア”のスタイリング。グリルは最上部に太いメッキモールを配した「押しの強い」デザインになりそうだ。

[zoom](#)

テストコースを走る“次期グランビア”。見た目は「大きなノア」という印象で、ボディ幅はかなり広い。Aピラーが前進し、フロントドア直前に三角窓がある。

テストコースを走っていたのは「でっかいノア」だった。そのシルエットはよく似ているものの、明らかにノアより大きい。つまり、これこそ次期グランビアなのだ。

以前からウワサにされていたように、やはり次期グランビアはFF化される。エスティマのプラットフォームを使って、居住空間を現行モデルよりも大きくとったボディを載せる、という手法だ。一連のトヨタ新世代ミニバンの方程式どおり、Aピラーの位置はフロントアクスル直上まで前進させることになる。すると、まさにノアをそのまま大きくしたようなシルエットができあがる。

グランビアはエスティマの上、トヨタ・ミニバンのラインナップの中では最上級クラスという位置づけだ。ボディ寸法も若干ながらエスティマより大きく、また現行モデルにも見られる“押し強いグリル”といった高級感が演出される。ランドクルーザー100が“SUVのセルシオ”なら、グランビアは“ミニバンのセルシオ”といったイメージだ。

メカニズム的にはエスティマのそれを踏襲し、2・4リットル直4、3リットルV6という2種のエンジンが搭載されるのはほぼ確実。また、スライドドアはノアと同じように両側に統一される可能性が高い。テストカーはノア「S」のようなスポーティ・バージョンで、前後バンパーやサイドスカートなどを専用装備としたものだ。当然、このほかにベーシックなモデルもあり、基本的には2タイプ構成となる。

さて、ここまでこの新型ミニバンを「次期グランビア」と称してきたが、じつは「グランビア」というブランドが消滅してしまうことがわかった。グランビア/ランドハイエース、そしてレジアス/ツーリングハイエースというファミリーをひとつのボディに統合する、というニュースはこれまでも報じてきた。しかし、これに加えてグランビアを擁するネット店にはこのクラスのミニバンは必要なしと判断され、ブランド廃止が決定。“次期グランビア”は新ブランド名となり、トヨペット店とビスタ店のみに投入される。

この新型ビッグミニバンのデビュー予想は02年秋。さて、いかなるペットネームが与えられるのか、いまから楽しみだ。



[zoom](#)



[zoom](#)

スクープ班は本物のグランビアを見つけました！新世代のボックスミニバンを感じさせる“ハイリフトキャビン”を採用したコンセプトカー「DMT」こそ、次期グランビアのコンセプトモデルに違いない・・・東京モーターショー直後にはそんな話もささやかれていたが、スクープ班はついにそのウワサの真偽を明らかにした。「DMT」とは似ても似つかない、テストカーの試走ナマ写真こそ決定的な証拠だ！

現行モデルのテイストは継承



[zoom](#)

エスティマベースでFFに変身



[zoom](#)

いわば“フルサイズ・ノア”



[zoom](#)

現行グランビア/グラ
ンドハイエースが持
つ、最上級ミニバン
にふさわしい高級感
は、次期モデルにも
継承される。いちば
ん“らしい”のは押
しの強さを主張する
ゴージャスなグリル
か。

プラットフォームをは
じめとする基本メカニ
ズムは、エスティマに
準じている。FF化す
ることで、FRの欠点
とされていた「床の高
さ」を一気に解消し、
広々とした居住空間を
得る。

FF化され、Aピラーを
前に出して居住空間
を大きくとるとい
う要件から、必然的に
ノアを大きくしたよ
うなシルエットにな
る。同様にFF化され
るとい
うエルグランドとの勝負はどうなる!?

[戻る](#)













